

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 経験者採用職員（総合職）公募
（寒地基礎技術研究グループ寒地構造チーム 主任研究員または研究員）

職 名：寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム 主任研究員または研究員

勤務場所：国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所（札幌市）

募集人員：1名程度

着任予定時期：令和8年10月1日以降のできるだけ早い時期

応募締切：令和8年7月2日（木曜日）17時必着

採用後の位置づけと定年制への移行：

基本的に任期は3年間ですが、パーマネント（定年制）への移行を希望する者については、任期中の実績や土木研究所への貢献等を総合的に考慮しつつ、審査を経てパーマネントの研究員に移行することが可能です。

募集の背景：寒地構造チームでは、落石や地震、加えて寒さという北海道の厳しい自然から土木構造物を守るため、橋梁、覆道、トンネルなど、土木構造物の設計法に関する研究、新工法の開発や維持管理に関する研究を行っている。現在の主要な研究課題として、①落石対策施設の設計法・維持管理、②橋梁コンクリート床版の維持管理、③道路橋の耐震性等に関する研究開発に取り組んでいる。

- ① 落石対策については、道路橋等の基準に比べ要求性能等に係る技術が研究開発の途上にあり、調査技術や性能評価技術、維持管理技術の確立に向けて早急に技術開発を進める必要がある。
- ② 橋梁コンクリート床版については、老朽橋梁が増加するなか、土砂化等の劣化損傷への対応が全国的に求められており、特に積雪寒冷地では、過酷な供用環境に起因して劣化損傷の進行が顕著な状況にある。維持管理の効率化や信頼性向上に資する点検・調査技術、性能評価・予測技術、対策（補修補強）技術の開発が喫緊の課題である。
- ③ 道路橋の耐震性については、道路橋の設計レベルを超える地震時作用力に対応した対策手法や、損傷の異常検知技術等に関する調査研究を行なっている。これらの取り組みを進め、普及するにあたり、数値シミュレーション等による構造物の損傷時挙動の再現・評価技術の確立が急務である。

そのため、これらのいずれかに関する専門性を有し、研究を担当しつつ将来は研究活動のマネジメントを担うことが期待される研究者が必要となっている。

職務内容：当研究所の設置法「土木研究所法」に定められた目的に沿い、所属組織体制の下で設定された研究のうち、土木構造物に係わる以下の分野に示すいずれかの技術等に関する

る研究活動を行う（主任研究員についてはマネジメントを含む）。さらに、関連する技術指導、成果の普及等にも関わる可能性がある。

(分野)

- ・実験、解析による力学的性能評価技術、設計技術。
ただし解析には数値解析、静的解析、動的解析、衝撃解析を含む。
- ・劣化損傷の調査、耐久性評価、対策技術。
- ・先進的コンピューティング、数理統計分野

応募条件：【主任研究員】

- 1) 以下のいずれかの資格を有する者
 - イ 博士の学位を有すること。なお採用日までに取得する見込みのある者を含む。
 - ロ 理工系分野の修士の学位を有すること。
 - 2) 職務内容に示すいずれかの分野に関する専門知識を有し、関連する研究実績もしくは実務実績を10年以上有すること
(大学院博士課程（博士後期課程）を修了している者については3年を経験年数に含むこととする)
 - 3) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者
- 上記1)～3)を満たすことを条件とする。

【研究員】

- 1) 以下のいずれかの資格を有する者
 - イ 博士の学位を有すること。なお採用日までに取得する見込みのある者を含む。
 - ロ 理工系分野の修士の学位を有すること。
 - 2) 職務内容に示すいずれかの分野に関する専門知識を有し、関連する研究実績もしくは実務実績を5年以上有すること。
(大学院博士課程（博士後期課程）を修了している者については3年を経験年数に含むこととする)
 - 3) 業務の遂行に必要な日本語能力を有する者
- 上記1)～3)を満たすことを条件とする。

待遇：※令和8年4月時点の内容

①勤務日・勤務時間：月～金曜日 8:30～17:15（フレックス制度あり）

②給与等

基本給：【主任研究員】 364,400円～（博士・実務経験7年の場合の一例）

その他、地域手当、役職手当、住居手当、扶養手当、通勤手当、寒冷地手当（11～3月）等を支給

【研究員】 318,800円～（修士・実務経験5年の場合の一例）

その他、地域手当、時間外勤務手当、住居手当、扶養手当、通勤手当、寒冷地手当（11～3月）等を支給

賞与：年2回（6月、12月）

昇給：年1回

上記の例での年収例：【主任研究員】723万円～【研究員】558万円～

※上記年収例は、基本給、地域手当、役職手当（主任研究員のみ）を基に算出、
その他の手当額は除いています。

③空きがある場合には、公務員宿舎へ入居可能。

④年次休暇：5日（令和8年10月1日採用の場合）

毎年1月に20日付与20日まで翌年に繰り越し可能

⑤特別休暇：夏季休暇3日間の他、結婚、出産、忌引等の場合

⑥子育て支援制度：土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けており、仕事と家庭（育児）の両立に向けた制度が充実しています。

女性活躍推進：土木研究所は女性活躍推進行動計画に基づき、女性研究職員の積極的な採用を進めています。

選考方法：書類審査、適性検査、選考試験（面接等）に基づき、応募条件を満たすものの中から、応募条件に掲げた知見、実務・研究経験、職務内容の理解度、職務遂行意欲に最も優れた者を選考する。

適性検査、面接はWEB（オンライン）での受験も可能です。

提出書類：様式自由、書類は全てA4サイズ

(1)履歴書（弊所指定、ホームページに掲載）

(2)これまでの業績の概要

(3)業績リストと代表業績（代表業績に関する論文の写し、レポート等2件以内）

(4)職務に関する本人の抱負（1,000字以内）

なお、主任研究員、研究員の希望（あるいはいずれも可）を記すこと。

(5)修了証明書（最終学歴のもの。修了見込みの場合は、それを証明できる書類）

なお、応募書類は返却しません。

書類提出先、問合わせ先：

〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1番34号

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 管理部管理課人事担当宛

封筒に「寒地基礎技術研究グループ（寒地構造チーム）経験者採用職員応募書類在中」

と明記の上、書留で郵送のこと

TEL:011-841-1624 E-mail:jinji-kyouyuu(a)ceri.go.jp

※ 「(a)」は、「@」に読み替えるものとする。

以上